

### ズーム朝会の話

皆さん、おはようございます。

最近のきらりを紹介します。

一つ目は、「仲良しタイム」が充実していることです。

13日の「仲よしタイム」では、どの班も6年生が中心になって1年生から6年生までが楽しそうに交流していました。6年生の皆さん、ありがとうございます。

6年生をお手本に次の仲良しタイムからは5年生が中心になって行ってくれますね。5年生の活躍を楽しみにしています。

二つ目は、「席書会」をよく頑張ったことです。

心新たに落ち着いた気持ちで、一文字ずつしっかり書くことができました。今週は書き初め展です。他の学年の作品もしっかり見て、感想を述べ合うことができるといいですね。

三つ目は、「自ら学ぶ姿勢」が培われていることです。

3学期が始まって1週間がたちます。どの学級でも落ち着いてしっかり学校生活が行われています。特に高学年は予習する習慣がついてきています。例えば6年生の理科で3学期に電磁石の学習をするので、冬休み中に進んで調べたり、実験したりしたことを発表している姿を見ることができました。これこそ、学びを自分のものにしていて、感心しました。

さて、26年前の1月17日、阪神淡路大震災が起きました。神戸を中心に、震度7の大きな地震が発生しました。大都市で起きたので、高速道路がなぎ倒されました。また、ビルが崩れたり、鉄道の線路がグニャグニャに曲がったりしました。さらに火が燃え広がって大きな火災になりました。6434人の方が亡くなりました。

大きな被害をもたらした震災でしたが、実際にあった話が絵本になっています。「はるかのひまわり」です。

震災によって亡くなってしまった小学6年生のはるかさんでしたが、その年の夏、家の跡地にひまわりの花が咲きました。はるかさんの隣の家で飼っているインコに、はるかさんがいつも餌のひまわりの種をあげていました。そのひまわりの種から芽が出て花が咲いたのでしょう。そのひまわりから取れた種を次の年も「はるかのひまわり」として、はるかさんの家の近くの路地に蒔きました。

それからその種は日本各地に配られて植えられるようになりました。「はるかのひまわり絆プロジェクト」です。東日本大震災の被災地でも植えられています。

命の大切さを伝えると同時に、震災によって傷ついた人の心を支えています。素敵な話ですね。皆さんもどうぞ、自分のそして友達の命を大切に生活してください。

新型コロナウイルスが収まる気配がありません。マスク着用、正しい手洗い、ソーシャルディスタンス等を守り、コロナに気を付けて今週も頑張りましょう。

### 表彰(1月18日)

全国暗算コンクールで金賞を受賞した4人の表彰を行いました。

おめでとうございます。

よく頑張りました。

日頃の努力が実り、結果として表れてよかったです。

